

## 障がい者のグループホーム 新築工事が着工

障がいのある方が共同生活を行い、地域の中で自立した生活を送る住居「グループホーム」の新築工事の起工式が10月21日、立江町の建設予定地で執り行われ、同ホームの運営主体となる社会福祉法人小松島市手をつなぐ育成会の青柳芳明理事長や濱田市長など関係者が多数出席し、工事の安全を祈願しました。

同ホームは、木造平屋建ての面積約270m<sup>2</sup>で、定員を8名と計画し、競輪とオートレースの振興を行う公益財団法人JKAからの助成を受けて建設が進められ、平成29年4月からの開所を目指しています。



グループホームの起工式の様子

## 櫛渕小学校の児童が埋蔵文化財の発掘調査を体験

櫛渕公民館の改築工事に伴い埋蔵文化財の発掘調査が行われている現場を利用し、櫛渕小学校の全学年を対象とした「発掘調査の体験授業」が11月14日に行われました。



発掘調査を体験する児童

発掘現場に入った同校の児童30名は、市教育委員会の職員の指導のもと、「ガリ」と呼ばれる草削りを使って土を薄く削りながら遺物を探したり、土器のかけらを発掘し歓声を上げたりしていました。



発掘調査の現場で地域の歴史や文化を学ぶ児童

## 事業所見学バスツアー・合同就職面接会 雇用の創出を図る

10月19日、求職者を対象とした「事業所見学バスツアー」が開催され、市内の製造業や農業など7事業所をバスで順次移動し、県内外から計45名が参加しました。

求職者は、職場を見て回り、社員から仕事内容などについて説明を受けたり、社員に質問をしたりして、合同就職面接会を前に職場の雰囲気を体感していました。



事業所を見学する求職者

また10月27日、「合同就職面接会」がミリカホールで開催され、見学を受け入れた7事業所を含む市内の22事業所が集まり、130名の求職者が真剣な表情で面接に臨んでいました。

この事業所見学と面接会は、雇用の創出や企業の人材確保を図るため、小松島市とハローワーク小松島が連携し、小松島商工会議所が協力して行ったものです。



市内の22事業所が面接ブースを設けた合同就職面接会